



WAIWAI ファンタジア（噴水施設）で花嫁を出迎えた花婿。見物客の祝福が頭上から降り注ぐ。



あやめの花道をる舟乗り場へと向かう花嫁さん。白無垢とあやめのコントラストが美しい。

水のバージンロード

5月28日（土）、あやめまつりオープニングセレモニーが水郷潮来あやめ園で開かれた。園内には、約500種・100万株の色とりどりのあやめ（花菖蒲）が咲き乱れる。

開会式後の午前11時過ぎ、嫁入り舟の花嫁さんが両親に付き添われ、あやめの花道を通って、華やかに姿を見せた。この日の花嫁さんは静岡県出身の篠木葉さん。地元出身の美容師、内堀章吾さんのもとへ嫁ぐ。園のすぐ横を流れる前川のろ舟乗り場から、嫁入り舟に乗り込んだ。

ろ舟はサッパとも呼ばれる手漕ぎの舟で、かつて地域を行き来する主要な交通手段として使われていた。嫁入り舟は、いわば水面のバージンロード。ゆるやか

に流れる川面を、船頭の漕ぐ櫓がさざ波を立てながら優雅に進む。北利根川と合流する下流の対岸河口にある噴水スポット「WaiWaiファンタジア」で、待ち受ける花婿さんや親せきのもとへ。到着した舟から、新郎のサポートで両親とともに上陸すると、見物客が拍手で出迎えた。原浩道・潮来市長から「潮来花嫁さん」の認定証が贈られ、カップルの幸せを呼ぶというカギを橋に施錠して、人力車に乗って締めくくるというコースが用意されている。

この間、両河畔は花嫁さんを目見ようという観光客らで切れ目なく埋まり、「おめでとー」の声が飛ぶ。撮影スポット、橋上の欄干からは、アマチュアカメラマンが身を乗り出してベストショットを狙っていた。

篠木さんは「両親に嫁ぎ先の風景や、住んでいる人たちのことを知ってもらいたくて嫁入り舟に応募しました。たくさんの方が来てくれて嬉しかったです」と、

花嫁は河畔から人力車に乗って嫁ぎ先に。



【上】まつりをあでやかに盛り上げる「水郷潮来あやめ娘」の皆さん。
【右上】開会挨拶して観光都市・潮来をアピールする原浩道市長。
【右下】「まつりの準備には数か月かけています」と話す潮来市環境経済部産業観光課の大崎優一係長。

